

平成 26 年 3 月 18 日

食料農業農村政策審議会畜産部会  
部会長 武 内 和 彦 殿

北海道農業協同組合中央会  
会 長 飛 田 稔 章



酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針見直しに係る基本的な取り進めに関する意見の提出について

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、誠に恐縮ではありますが、所用により 3 月 24 日開催の畜産部会に出席できないため、みだし意見について、下記のとおり提出致しますのでよろしくお願い申し上げます。

記

1. 酪肉近の見直しにあたっては、近年における酪農家離脱戸数の増加など、酪農畜産生産現場の実態を踏まえ、その問題点と課題を具体的に整理した上で取り進めること。
2. 現行の酪肉近で示された方向性に係る目標に対する達成度合いを（達成できなかった場合はその理由も含め）整理すること。
3. 現行の酪肉近では、「畜産・酪農所得補償制度については、酪農及び肉用牛生産等の特性を十分に踏まえつつ、現行の経営安定対策が果たしている機能やこれらの新たな仕組みの実施状況等を検証し、そのあり方や導入時期を検討する。その際、生産現場の意見を十分に聴くこととする。」と明記されており、議論の過程とその結果について具体的に総括すること。

以上